

1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

相手の気持ちを考えて行動し、互いに信頼し合い、友情を深めていこうする態度を育てる。

◆評価

相手の気持ちを考えて行動しようとする意識を高めることができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（友情、信頼）

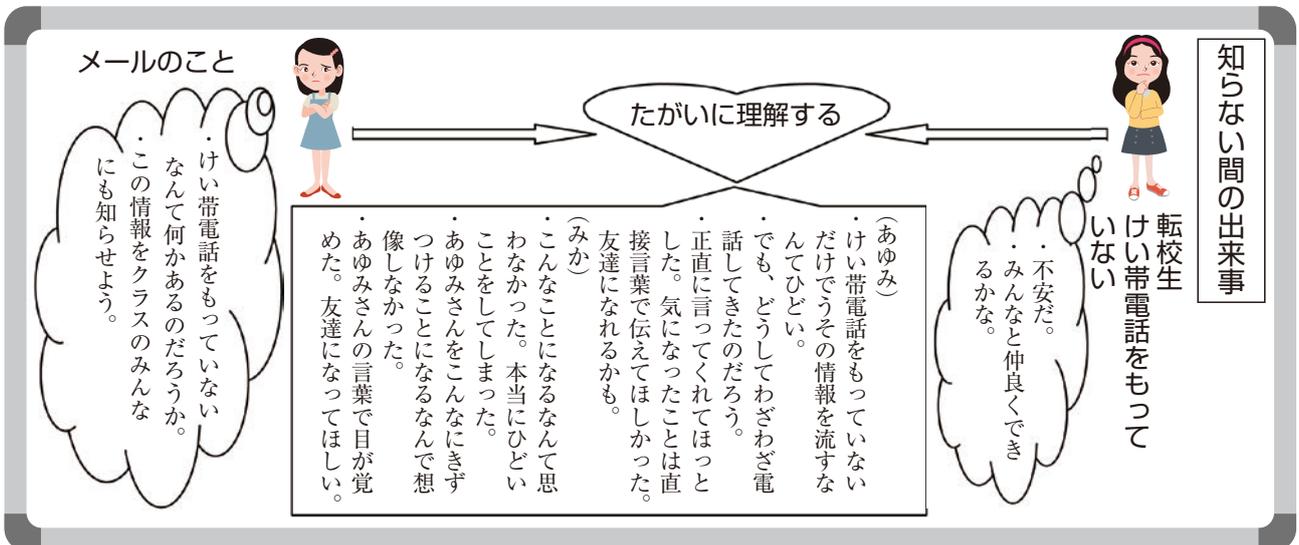
◆主な使用教材

・「知らない間の出来事」（文部科学省『私たちの道徳』小学校5・6年）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達との関わりについて生活経験を想起する。 ◇ あなたにとって、友達とはどんな存在ですか。	○ 『私たちの道徳』73ページを読み、道徳的価値への問題意識をもたせる。
展開 30分	2 教材「知らない間の出来事」を読み、話し合う。 ◇ あゆみ、みか、クラスみんなについてどのような感想をもちましたか。 ◇ みかは、どんな気持ちからクラスみんなにメールを送ったのでしょうか。 【中心発問】電話で話しているみかとあゆみの気持ちを考えましょう。	○ 何気なく送ったメールが大変な誤解を招いてしまうことがあることに気付かせる。 ○ あゆみとみかが、電話で話した内容や、これからの二人の関係について考えさせる。
終末 10分	3 今日の学習を振り返り、これからの友達との付き合い方を考える。	○ 『私たちの道徳』74ページの「友達との付き合い方について大切にしたいこと」を記入させる。

板書例



1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

誰に対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、いじめを許さない公正、公平な態度を育てる。

◆評価

いじめは許さないという強い気持ちを持ち、誰に対しても公平な態度で接しようとする意識をもつことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

◆主な使用教材

・「ユリのうしろ姿」（東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成28年3月）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達との関わりについて、今までの経験を振り返る。 ◇ 今まで、友達にされてうれしかったことはどんなことですか。そのとき、あなたはどうしましたか。	○ 学級の実態によっては、事前アンケートをとり、紹介する。
展開 35分	2 教材「ユリのうしろ姿」を読み、話し合う。 ◇ 声を掛けてもよそよそしい様子の真理子とさおりの態度に、「私」はどんなことを思ったでしょう。 【中心発問】泣き出した「私」を見つめているユリの気持ちや思いについて考えましょう。 3 『私たちの道徳』134ページのワークを行い、自分自身の日常生活での行動を振り返る。	○ 真理子、さおり、私、ユリ、クラスの友達、それぞれの思いや立場について考えさせる。 ○ これまでのユリの言動も振り返らせ、誰に対しても公正、公平に接することについて考えさせる。
終末 5分	4 『私たちの道徳』135ページの「いじめている君へ」を読み、本時の学習で気付いたことをワークシートに書く。	○ 『私たちの道徳』135ページの「いじめている君へ」を読み、本時の学習を振り返らせる。

板書例

○いじめを許さず、公正、公平に接するために

○「私」を見つめる「ユリ」

- ・いつも、いっしょにいた三人なのに、何かあったのだろうか。
- ・気に入らないことがあると、仲間外れにするなんて許せない。
- ・私も、いじめられている人の気持ちがよくわかる。このまま知らん顔することはできない。

私が、何か悪いことをしたのかな。
私は、あの時、正しいことを言っただけなのに、どうしてだろう。
仲の良い友達と思っていたのに。

ある日、とつ然、仲間外れにされる。

ユリのうしろ姿